【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【公表番号】特表2015-529455(P2015-529455A)
【公表日】平成27年10月8日(2015.10.8)
【年通号数】公開・登録公報2015-063
【出願番号】特願2015-524459(P2015-524459)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｐ　7/22　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ａ０１Ｈ　5/00　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ　311/62　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/19　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/21　(2006.01)
Ａ０１Ｈ　1/00　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｐ　7/22　ＺＮＡ
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ａ
Ａ０１Ｈ　5/00　Ａ
Ｃ０７Ｄ　311/62
Ｃ１２Ｎ　1/19
Ｃ１２Ｎ　1/21
Ａ０１Ｈ　1/00　Ａ
Ｃ１２Ｎ　5/00　１０３

【手続補正書】
【提出日】平成28年7月25日(2016.7.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
カルスを宿主細胞に形質転換されたＤＮＡコンストラクトを含んでなる生物学的装置に接触させるステップを含んでなり、
前記ＤＮＡコンストラクトが５’から３’に向けて、遺伝子要素（１）配列番号１を有するＰＡＬプロモーターまたはその誘導体；および（２）ヒスチジン／フェニルアラニンアンモニアーリアーゼを発現する配列番号５を有する遺伝子またはその誘導体をこの順で含んでなる、ココアカルスからの１つまたは複数のフェノール化合物の生成を高める方法。
【請求項２】
請求項１に記載の方法において、前記ＤＮＡコンストラクトがプラスミド中にあることを特徴とする方法。
【請求項３】
請求項１に記載の方法において、前記ＤＮＡコンストラクトがＰＢＳＫＩＩ中にあることを特徴とする方法。
【請求項４】

請求項１に記載の方法において、前記宿主細胞が、酵母または細菌を含んでなることを特徴とする方法。
【請求項５】
請求項４に記載の方法において、前記細菌が、バチルス・プミルス（Ｂａｃｉｌｌｕｓ　ｐｕｍｉｌｕｓ）、または大腸菌（Ｅ．ｃｏｌｉ）を含んでなることを特徴とする方法。
【請求項６】
請求項１乃至５の何れか一項に記載の方法において、前記カルスが、前記生物学的装置との接触に先だってキトサン中で培養されることを特徴とする方法。
【請求項７】
請求項６に記載の方法において、前記キトサンが、６０％～１００％アセチル化されていることを特徴とする方法。
【請求項８】
請求項６に記載の方法において、前記キトサンが、３～２０個のグルコサミン単位および／またはＮ－アセチルグルコサミン単位を含んでなることを特徴とする方法。
【請求項９】
ココア配偶子細胞またはココア生殖器を宿主細胞に形質転換されたＤＮＡコンストラクトを含んでなる生物学的装置に接触させるステップを含んでなり、
前記ＤＮＡコンストラクトが５’から３’に向けて、遺伝子要素（１）配列番号１を有するＰＡＬプロモーターまたはその誘導体；および（２）ヒスチジン／フェニルアラニンアンモニア－リアーゼを発現する配列番号５を有する遺伝子またはその誘導体をこの順で含んでなる、方法によって栽培される、ココア植物。
【請求項１０】
宿主細胞に形質転換されたＤＮＡコンストラクトを含んでなる生物学的装置に接触させたココア細胞から、ココア植物を培養するステップを含んでなり、
前記ＤＮＡコンストラクトが５’から３’に向けて、遺伝子要素（１）配列番号１を有するＰＡＬプロモーターまたはその誘導体；および（２）ヒスチジン／フェニルアラニンアンモニア－リアーゼを発現する配列番号５を有する遺伝子またはその誘導体をこの順で含んでなる、ココア植物が１つまたは複数の疾患に罹患するのを予防する方法。
【請求項１１】
請求項１０に記載の方法において、前記疾患が真菌疾患であることを特徴とする方法。
【請求項１２】
カルスを宿主細胞に形質転換されたＤＮＡコンストラクトを含んでなる生物学的装置に接触させるステップを含んでなり、
前記ＤＮＡコンストラクトが５’から３’に向けて、遺伝子要素（１）ＰＡＬプロモーター、および（２）ヒスチジン／フェニルアラニンアンモニア－リアーゼを発現する遺伝子をこの順で含んでなり、
前記カルスを前記生物学的装置との接触に先だってキトサン中で培養する、ココアカルスからの１つまたは複数のフェノール化合物の生成を高める方法。
【請求項１３】
ココア配偶子細胞またはココア生殖器を宿主細胞に形質転換されたＤＮＡコンストラクトを含んでなる生物学的装置に接触させるステップを含んでなり、
前記ＤＮＡコンストラクトが５’から３’に向けて、遺伝子要素（１）ＰＡＬプロモーター、（２）ヒスチジン／フェニルアラニンアンモニア－リアーゼを発現する遺伝子、（３）リボソーム結合部位、および（４）ターミネーターをこの順で含んでなり、
前記ココア配偶子細胞またはココア生殖器を前記生物学的装置との接触に先だってキトサンに接触させる、方法によって栽培される、ココア植物。
【請求項１４】
宿主細胞に形質転換されたＤＮＡコンストラクトを含んでなる生物学的装置に接触させたココア細胞から、ココア植物を培養するステップを含んでなり、

前記ＤＮＡコンストラクトが５’から３’に向けて、遺伝子要素（１）ＰＡＬプロモーター、（２）ヒスチジン／フェニルアラニンアンモニアーリアーゼを発現する遺伝子、（３）リボソーム結合部位、および（４）ターミネーターをこの順で含んでなり、
前記ココア細胞を前記生物学的装置との接触に先だってキトサンに接触させる、ココア植物が１つまたは複数の疾患に罹患するのを予防する方法。